

## スペシャルオリンピックス長野大会に向けトーチランスタート!

平成十七年二月二十六日から三月五日まで、世界八十カ国、二千五百人のアスリートが参加する、「第八回スペシャルオリンピックス冬季世界大会」が長野県で開催されます。スペシャルオリンピックスは、知的に障害のある方々の世界的なスポーツの祭典です。故ケネディ大統領の妹、ユニス・シュライパー夫人が、知的に障害のある方々にスポーツの機会を提供したいと、自宅の庭を開放して始めたデイ・キャンプがその始まりと言われ、四年に一度、夏季と冬季に開催されています。

今回、両季を通じてアジアで初の開催となる本大会を、一人でも多くの方に知ってもらおうと、現在全国各地で「トーチラン」(聖火リレー)が開催されています。本県でも、十月二日、トーチランのスタートを告げる式典が、JR新横浜駅前で開催されました。

式典では、スペシャルオリンピックス日本理事長で、「500万人トーチラン」委員会委員長でもある細川佳代子氏が、「日本は世界屈指の先進国であるにも関わらず、障害のある方々への理解

や支援は、世界のどの国よりも遅れていると感じています。心のバリアフリー



横浜F・マリノスの岡田監督も応援にかけつけ、県内初のトーチが点火台にともされた

を広め、差別や偏見のない社会を作っていくために、皆さん是非「協力ください」と挨拶。続いて、わが国の大会発祥の地、熊本県の阿蘇山で採火された聖火が第一走者に手渡されると、大会参加選手など五人が、横浜市港北区の横浜国際総合競技場までの約二・五キロメートルをつなぎました。

本県のトーチランは、今後、週末を中心に十地域で開催された後、開催地の長野県に運ばれます。全国から集まった聖火は、ギリシャのアテネから世界各国の警察官や消防士らが運んできた、「国際法執行者トーチラン」の灯と一体となり、八日間の熱戦を照らしめます。

◆神奈川トーチラン実行委員会(SON神奈川事務局内)  
045-222-13255

## 500万人トーチランを応援してください!

この活動は、ボランティアの皆さんとサポーターの方々の寄付により支えられています。是非ご協力をお願いします。



**バッジ**  
ゴールドサポーター  
(1口10,000円以上)  
シルバーサポーター  
(1口5,000円)



**ステッカー**  
500円

**Tシャツ**  
1,500円  
男女兼用サイズ  
(S・M・L・LL)

※赤黒白の3色

## 痴呆を映像と音声で体験する講習会開催

(社)長寿社会文化協会が、平成十四年から開発を進めてきた、「痴呆高齢者擬似体験プログラム」を活用した痴呆予防講習会が、十月六日に横浜市で開催されました。

プログラムはヘッドマウントディスプレイ(写真)から発せられる映像と音声により、痴呆の軽度から重度に至る過程で起こりやすい「トイレ探し」を体験するもの。痴呆のイメージや人の尊厳を損なわないよう配慮された内容から、高齢者の身体や精神の状態を体験できるだけでなく、環境への配慮や周囲の対応

のあり方など、様々な角度から、痴呆を理解することができず。体験者からは、「記憶を欠いてしまい生活に支障をきたしてしまふ。不安で困ってしまった結果、様々な行動をしてしまふということが理解できた」など、痴呆の印象が変わったという感想も聞かれたほか、「穏やかに暮らすことできる環境を整え、理解を広げていくことが大切」など、これからの痴呆介護の課題を示唆する声も聞かれました。



痴呆高齢者の目線や行動を疑似体験する参加者の方々

プログラムは今後、体験者からの意見を参考に改良が進められ、より良い介護の普及や介護予防に活用されていく予定とのことです。

◆WAC・KA(代表・秋丸照雄)

044-811-5676